

平成 28 年 10 月入学

平成 29 年 4 月入学

新潟大学大学院医歯学総合研究科  
医科学専攻（修士課程）

# 学生募集要項

第 1 次募集：平成 28 年 10 月入学（外国人留学生）

平成 29 年 4 月入学（一般入試）

第 2 次募集：平成 29 年 4 月入学（一般入試）

新潟大学大学院医歯学総合研究科

〒951-8510

新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地

新潟大学医学部医学科学務係

電話 （025）227-2017

## 入試日程

	平成 28 年 10 月入学 ※外国人留学生	平成 29 年 4 月入学 ＜第 1 次募集＞	平成 29 年 4 月入学 ＜第 2 次募集＞
出願資格確認・ 審査申請期限 (該当者のみ)	平成 28 年 7 月 6 日 (水) 【必着】	平成 28 年 7 月 6 日 (水) 【必着】	平成 28 年 11 月 16 日 (水) 【必着】
出願手続期間	平成 28 年 7 月 21 日 (木) ～ 7 月 28 日 (木) 【必着】	平成 28 年 7 月 21 日 (木) ～ 7 月 28 日 (木) 【必着】	平成 28 年 12 月 8 日 (木) ～ 12 月 15 日 (木) 【必着】
試験日	平成 28 年 8 月 18 日 (木)	平成 28 年 8 月 18 日 (木)	平成 29 年 1 月 19 日 (木)
合格発表	平成 28 年 9 月 16 日 (金)	平成 28 年 9 月 16 日 (金)	平成 29 年 2 月 22 日 (水)
入学手続期間	平成 28 年 9 月 23 日 (金) ～ 9 月 26 日 (月)	平成 29 年 2 月 28 日 (火) ～ 3 月 2 日 (木)	平成 29 年 2 月 28 日 (火) ～ 3 月 2 日 (木)

### 新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学ホームページをご覧ください。

○新潟大学ホームページ

URL <http://www.niigata-u.ac.jp/>

携帯サイト <http://daigakuic.jp/niigata-u/>

### 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

# 目 次

## I. 《第1次募集》平成28年10月入学・一般入試（外国人留学生）

1. 専攻及び募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続	2
4. 選抜方法	3
5. 出願資格の確認又は審査	4
6. 入学手続	5
7. その他	5

## II. 《第1次募集》平成29年4月入学・一般入試

1. 専攻及び募集人員	7
2. 出願資格	7
3. 出願手続	8
4. 選抜方法	9
5. 出願資格の確認又は審査	10
6. 入学手続	11
7. その他	11

## III. 《第2次募集》平成29年4月入学・一般入試

1. 専攻及び募集人員	13
2. 出願資格	13
3. 出願手続	14
4. 選抜方法	15
5. 出願資格の確認又は審査	16
6. 入学手続	17
7. その他	17

## IV. 新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）入学案内

## V. 本研究科所定用紙（出願書類等）

## 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

### [教育理念・目標]

#### 理念

大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、幅広いフィールドとの学際的研究を推進し、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材を育成することを理念とします。

#### 目標

1. 先端生命科学を担う研究者の育成を図ります。
2. 疾病の診断・治療に役立つ研究者の育成を図ります。
3. 高度医療・保健指導を担当できる高度専門職業人の育成を図ります。
4. 医学、医療関連分野で指導的立場となる高度専門職業人の育成を図ります。
5. 社会人入学制度により、生涯教育を充実・普及させます。

### [教育内容・特色]

1. 解剖学，生化学，生理学，免疫学，再生医学などの基礎医学，法医学，衛生学などの社会医学，病理学，最新の臨床医学のトピックなど，医学，医療全般を網羅した魅力ある講義カリキュラム
2. 医歯学総合研究科，医歯学総合病院，脳研究所に所属する教員による充実した指導体制
3. 入学者の希望する進路（博士課程進学希望者，高度専門職業人を志望する人など）に対応した教育，研究指導
4. 入学者の経歴に対応した学際的教育，研究指導
5. 社会人入学者に対応したカリキュラム
6. 多様な医療課題に柔軟に対応した高度専門職業人育成プログラム  
（学会認定資格等を取得するための教育プログラム）

### [求める学生像]

- ・大学卒業相当の基礎的学力を習得している人で，出身学部は問いません。
- ・医学・医療，また，その関連分野で，研究者や高度専門職業人として社会に貢献できる人，自ら研究課題を開拓し独創的な研究を遂行したい人，研究による成果をもとに世界の医療に貢献できる人，研究者，高度専門職業人の育成に貢献できる人を求めます。さらに，社会人学生は，各種産業界における人材育成，外国人留学生は，自国における人材育成に強い意欲を持つ人を求めます。

### [入学者選抜の基本方針]

#### 一般入試

志望する教育研究分野に対する高い理解度を持ち，研究に必要な語学力を有する人を選抜します。

1. 学力検査は，外国語（英語），小論文を課し，基礎的学力を評価します。
2. 面接は，教育研究分野に対する理解度，研究に対する意欲，研究計画について評価します。

# I. 第 1 次 募 集

平成 28 年 10 月入学 (外国人留学生)

## 一 般 入 試

- 外国人留学生を対象に、平成 28 年 10 月入学 新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）の学生を、次のとおり募集します。

## 1. 専攻及び募集人員

### 医科学専攻（修士課程）外国人留学生 若干人

（注）出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の担当教員に問い合わせてください。  
問い合わせ先の E メールアドレス、電話番号は教育研究分野一覧を参照してください。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- （1）学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学（修業年限 4 年以上）を卒業した者及び平成 28 年 9 月までに卒業見込みの者
- （2）学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 28 年 9 月までに授与される見込みの者
- （3）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 28 年 9 月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 28 年 9 月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （6）外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上ある課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 9 月までに授与される見込みの者
- （7）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 28 年 9 月までに修了見込みの者
- （8）文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- （9）学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- （10）平成 28 年 9 月 30 日までに学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- （11）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 9 月 30 日までに 22 歳に達するもの

注 1. 出願資格（3）、（4）、（6）又は（9）～（11）のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、4 ページの「5. 出願資格の確認又は審査」を参照の上、申請受付期間に申請書類を提出してください。

注 2. 障がいや有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、平成 28 年 7 月 6 日（水）までに医学科学務係に相談してください。

### 3. 出 願 手 続

#### (1) 出願手続期間

平成28年7月21日(木)～7月28日(木)(必着)

(持参の場合) 受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

(郵送(書留速達に限る)の場合) 出願期間内に必着とします。

#### (2) 出願書類等(①②⑤⑦⑩⑪⑫は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①入 学 志 願 票	裏面(履歴書)も必ず記入してください。なお、「 <b>検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b> 」を所定欄に確実にはってください。(※ <b>取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。</b> )
②受 験 票 ・ 写 真 票	写真(出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください)をそれぞれにはってください。
③卒 業 証 明 書 又は卒業見込証明書	出身大学(学部)長が作成したものとします。
④成 績 証 明 書	出身大学(学部)長が作成し厳封したものとします。 大学院研究科修士(博士前期)課程修了者は、学部在籍時の成績証明書を提出してください。
⑤志 望 理 由 書	必要事項を記入してください。
⑥在留カードの写し又は パスポートの写し	在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑦受 験 承 諾 書 ※該当者のみ	出願時に在職中の者は、所属長の職印で承諾されたものを提出してください。
⑧学 位 授 与 証 明 書 ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑨短期大学又は高等専門 学校の専攻科の修了 (見込み)証明書及び 学士の学位授与申請書 の受理証明書(又は学 士の学位授与を大学改 革支援・学位授与機構 に申請予定である旨の 証明書) ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。(1ページの「2. 出願資格」(2)の、授与される見込みの者) 専攻科の修了(見込み)証明書及び学位授与申請予定の証明書は、出身(在籍)短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑩返 信 用 封 筒	封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」の小封筒には郵便切手372円分をはってください。 「合格通知書在中」の小封筒及び「入学手続書類在中」の大封筒には郵便切手をはる必要はありません。
⑪検 定 料 30,000 円	本要項に添付の「 <b>振込依頼書(新潟大学大学院医歯学総合研究科(修士課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b> 」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。 その際、 <b>必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</b> なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してくださ

	い。 ② 検定料の振込みは、平成 28 年 7 月 14 日（木）～7 月 28 日（木）〔15 時 00 分〕までの期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日及び祝日の振込みはできません。） ③ ATM（現金自動預払機）での振込みはできません。
⑫検定料納付証明書 （新潟大学提出用）	<b>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を入学志願票の所定欄にはってください。</b> （※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）

(3) 出願方法

上記①～⑩及び⑫の出願書類を郵送（書留速達）又は持参してください。

なお、郵送の場合は、本要項に添付の指定封筒（「大学院修士課程出願書類在中」）を使用してください。

(4) 提出先 新潟大学医学部医学科学務係

（〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地）

注 1. 提出後の出願書類の内容変更は認めません。

注 2. 既納の検定料及び出願書類は、返還しません。

ただし、検定料払込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000 円）を返還します。

詳細は、本学ホームページ（HOME>入学を希望する方 ○授業料等の学費と奨学金等の支援制度についてお知らせになりたい方はこちらへ>納付済検定料返還手続）を参照してください。

<http://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/general/return-fee/>

なお、請求書の郵送を希望される方は、財務部資産管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地

新潟大学財務部資産管理課収入係

電話（025）262-6053

注 3. 出願書類③、④及び⑦の証明書、承諾書の印は、個人印・社印ではなく、大学長・学部長あるいは社長・支店長等の、職を表す印に限ります。

#### 4. 選抜方法

入学者の選抜は、外国語科目、小論文、面接の結果及び出願書類を総合して行います。

(1) 試験日時・場所

期 日	時 間	科 目 等	試 験 場
平成 28 年 8 月 18 日（木）	9:30 ～ 11:00	外国語（英語）	新潟大学医学部 第 3 講義室
	11:20 ～ 12:20	小 論 文	
	13:30 ～ 14:30	面接（第 1 志望）	教育研究分野の 指定する場所
	14:30 ～	面接（第 2 志望）	

\*外国語（英語）は辞書（英和・和英）の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び医学辞書は不可とします。

(2) 合格発表

**平成 28 年 9 月 16 日（金）** 午前 10 時

医学部大講義室前に合格者の受験番号を掲示により発表すると同時に、合格者には、合格通知書を郵送します。

なお、電話での可否に関する問い合わせには、一切応じません。



## 5. 出願資格の確認又は審査

「2. 出願資格(3), (4), (6)又は(9)～(11)」のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、申請受付期間に申請書類を提出してください。

### (1) 申請受付期間

**平成28年6月27日(月)～7月6日(水)**

〈持参の場合〉受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送の場合〉申請受付期間内に必着とします。

### (2) 「2. 出願資格(3), (4)又は(9)～(11)」の申請書類(①及び④の研究業績調書は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①出願資格確認・審査申請書	必要事項を記入してください。
②最終学歴に関する証明書	卒業(修了)証明書, 成績証明書(短期大学の専攻科又は高等専門学校)の専攻科を卒業(修了)した者は, 短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書, 成績証明書を併せて提出してください。)
③最終学歴の学校に関する資料	入学資格, 卒業(修了)要件, 修業年限が記載されている資料(学則・規程, 学生便覧等の写し)を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
④その他学修・研究に関する資料	科目等履修生等で学修した者は, 科目等履修生等の成績証明書等を提出してください。また, 研究業績がある者は, 研究業績調書及び論文の別刷又は写し等内容が確認できる資料を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑤在学期間証明書又は退学証明書	中途退学者は, 出身大学(学部)長が作成したものを提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑥在留カードの写し又はパスポートの写し	在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし, 渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑦返信用封筒	封筒(長形3号)に志願者の郵便番号, 住所及び氏名を明記し, 郵便切手362円分をはってください。

※「2. 出願資格(6)」の申請書類は、医学科学務係から指示しますので、「7. その他」の問い合わせ先に連絡してください。

### (3) 提出先 新潟大学医学部医学科学務係

(〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地)

注1. 提出後の申請書類の内容変更は認めません。また、申請書類は返還しません。

注2. 外国語で記載された書類には、日本語の訳文を添付してください。

### (4) 出願資格の確認又は審査

確認又は審査は、提出された申請書類により行います。

### (5) 確認又は審査の結果通知

結果は、確認又は審査終了後すみやかに申請者宛に通知します。

## 6. 入 学 手 続

入学手続期間： 平成28年9月23日（金）～9月26日（月）（必着）

郵送又は持参してください。郵送の場合は、書留速達とし、持参の場合は午前8時30分から午後5時までとします。土・日曜日の受付は行いません。

入学手続に必要な提出書類等の詳細については、合格者に別途通知します。

## 7. そ の 他

出願手続後、現住所又は連絡先に変更が生じた時は、すみやかに医学科学務係に連絡してください。

<問い合わせ先>

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地

新潟大学医学部医学科学務係

電話 (025) 227-2017

## Ⅱ. 第 1 次 募 集

平成 29 年 4 月入学

### 一 般 入 試

- 平成 29 年 4 月入学 新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）の学生を、次のとおり募集します。

## 1. 専攻及び募集人員

### 医科学専攻（修士課程） 20 人

（注）出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の担当教員に問い合わせてください。  
問い合わせ先の E メールアドレス、電話番号は教育研究分野一覧を参照してください。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- （1）学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学（修業年限 4 年以上）を卒業した者及び平成 29 年 3 月までに卒業見込みの者
- （2）学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 29 年 3 月までに授与される見込みの者
- （3）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （6）外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上ある課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 29 年 3 月までに授与される見込みの者
- （7）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- （8）文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- （9）学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- （10）平成 29 年 3 月 31 日までに学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- （11）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの

注 1. 出願資格（3）、（4）、（6）又は（9）～（11）のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、10 ページの「5. 出願資格の確認又は審査」を参照の上、申請受付期間に申請書類を提出してください。

注 2. 障がいや有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、平成 28 年 7 月 6 日（水）までに医学科学務係に相談してください。

### 3. 出 願 手 続

#### (1) 出願手続期間

**平成 28 年 7 月 21 日 (木) ~ 7 月 28 日 (木) (必着)**

(持参の場合) 受付時間は、午前 8 時 30 分から午後 5 時まで。土・日曜日の受付は行いません。

(郵送(書留速達に限る)の場合) 出願期間内に必着とします。

#### (2) 出願書類等(①②⑤⑦⑩⑪⑫は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①入 学 志 願 票	裏面(履歴書)も必ず記入してください。なお、「 <b>検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b> 」を所定欄に確実にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
②受 験 票 ・ 写 真 票	写真(出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもの、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください)をそれぞれにはってください。
③卒 業 証 明 書 又は卒業見込証明書	出身大学(学部)長が作成したものとします。
④成 績 証 明 書	出身大学(学部)長が作成し厳封したものとします。 大学院研究科修士(博士前期)課程修了者は、学部在籍時の成績証明書を提出してください。
⑤志 望 理 由 書	必要事項を記入してください。
⑥在留カードの写し又は パスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は、在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑦受 験 承 諾 書 ※該当者のみ	出願時に在職中の者は、所属長の職印で承諾されたものを提出してください。
⑧学 位 授 与 証 明 書 ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑨短期大学又は高等専門 学校の専攻科の修了 (見込み)証明書及び 学士の学位授与申請書 の受理証明書(又は学 士の学位授与を大学改 革支援・学位授与機構 に申請予定である旨の 証明書) ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。(7ページの「2. 出願資格」(2)の、授与される見込みの者) 専攻科の修了(見込み)証明書及び学位授与申請予定の証明書は、出身(在籍)短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑩返 信 用 封 筒	封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」の小封筒には郵便切手372円分をはってください。 「合格通知書在中」の小封筒及び「入学手続書類在中」の大封筒には郵便切手をはる必要はありません。
⑪検 定 料 30,000 円	本要項に添付の「 <b>振込依頼書(新潟大学大学院医歯学総合研究科(修士課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b> 」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、 <b>必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</b> なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。

	<p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、平成28年7月14日（木）～7月28日（木）〔15時00分〕までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日及び祝日の振込みはできません。）</p> <p>③ ATM（現金自動預払機）での振込みはできません。</p>
⑫検定料納付証明書 （新潟大学提出用）	<p><b>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を入学志願票の所定欄にはってください。</b></p> <p>（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>

(3) 出願方法

上記①～⑩及び⑫の出願書類を郵送（書留速達）又は持参してください。

なお、郵送の場合は、本要項に添付の指定封筒（「大学院修士課程出願書類在中」）を使用してください。

(4) 提出先 新潟大学医学部医学科学務係

（〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地）

注1. 提出後の出願書類の内容変更は認めません。

注2. 既納の検定料及び出願書類は、返還しません。

ただし、検定料払込み後、出願期間内に出願書類を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000円）を返還します。

詳細は、本学ホームページ（HOME>入学を希望する方 ○授業料等の学費と奨学金等の支援制度についてお知りになりたい方はこちらへ>納付済検定料返還手続）を参照してください。

<http://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/general/return-fee/>

なお、請求書の郵送を希望される方は、財務部資産管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学財務部資産管理課収入係

電話（025）262-6053

注3. 出願書類③、④及び⑦の証明書、承諾書の印は、個人印・社印ではなく、大学長・学部長あるいは社長・支店長等の、職を表す印に限ります。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、外国語科目、小論文、面接の結果及び出願書類を総合して行います。

(1) 試験日時・場所

期	日	時 間	科 目 等	試 験 場
平成28年8月18日（木）		9:30～11:00	外国語（英語）	新潟大学医学部 第3講義室
		11:20～12:20	小論文	
		13:30～14:30	面接（第1志望）	教育研究分野の 指定する場所
		14:30～	面接（第2志望）	

\*外国語（英語）は辞書（英和・和英）の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び医学辞書は不可とします。

(2) 合格発表

**平成28年9月16日（金）** 午前10時

医学部大講義室前に合格者の受験番号を掲示により発表すると同時に、合格者には、合格通知書を郵送します。

なお、電話での可否に関する問い合わせには、一切応じません。

## 5. 出願資格の確認又は審査

「2. 出願資格(3), (4), (6)又は(9)～(11)」のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、申請受付期間に申請書類を提出してください。

### (1) 申請受付期間

**平成28年6月27日(月)～7月6日(水)**

〈持参の場合〉受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送の場合〉申請受付期間内に必着とします。

### (2) 「2. 出願資格(3), (4)又は(9)～(11)」の申請書類(①及び④の研究業績調書は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①出願資格確認・審査申請書	必要事項を記入してください。
②最終学歴に関する証明書	卒業(修了)証明書, 成績証明書(短期大学の専攻科又は高等専門学校)の専攻科を卒業(修了)した者は, 短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書, 成績証明書を併せて提出してください。)
③最終学歴の学校に関する資料	入学資格, 卒業(修了)要件, 修業年限が記載されている資料(学則・規程, 学生便覧等の写し)を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
④その他学修・研究に関する資料	科目等履修生等で学修した者は, 科目等履修生等の成績証明書等を提出してください。また, 研究業績がある者は, 研究業績調書及び論文の別刷又は写し等内容が確認できる資料を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑤在学期間証明書又は退学証明書	中途退学者は, 出身大学(学部)長が作成したものを提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑥在留カードの写し又はパスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は, 在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし, 渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑦返信用封筒	封筒(長形3号)に志願者の郵便番号, 住所及び氏名を明記し, 郵便切手362円分をはってください。

※「2. 出願資格(6)」の申請書類は、医学科学務係から指示しますので、「7. その他」の問い合わせ先に連絡してください。

### (3) 提出先 新潟大学医学部医学科学務係

(〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地)

注1. 提出後の申請書類の内容変更は認めません。また、申請書類は返還しません。

注2. 外国語で記載された書類には、日本語の訳文を添付してください。

### (4) 出願資格の確認又は審査

確認又は審査は、提出された申請書類により行います。

### (5) 確認又は審査の結果通知

結果は、確認又は審査終了後すみやかに申請者宛に通知します。

## 6. 入 学 手 続

入学手続期間： 平成 29 年 2 月 28 日（火）～3 月 2 日（木）（必着）

郵送又は持参してください。郵送の場合は、書留速達とし、持参の場合は午前 8 時 30 分から午後 5 時までとします。

入学手続に必要な提出書類等の詳細については、合格者に別途通知します。

## 7. そ の 他

出願手続後、現住所又は連絡先に変更が生じた時は、すみやかに医学科学務係に連絡してください。

<問い合わせ先>

〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地

新潟大学医学部医学科学務係

電話 (025) 227-2017



### Ⅲ. 第 2 次 募 集

平成 29 年 4 月入学

#### 一 般 入 試

- 平成 29 年 4 月入学 新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）の学生を、次のとおり募集します。

## 1. 専攻及び募集人員

### 医科学専攻（修士課程） 若干人

（注）出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の担当教員に問い合わせてください。  
問い合わせ先の E メールアドレス、電話番号は教育研究分野一覧を参照してください。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- （1）学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学（修業年限 4 年以上）を卒業した者及び平成 29 年 3 月までに卒業見込みの者
- （2）学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 29 年 3 月までに授与される見込みの者
- （3）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （6）外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上ある課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 29 年 3 月までに授与される見込みの者
- （7）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 29 年 3 月までに修了見込みの者
- （8）文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- （9）学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- （10）平成 29 年 3 月 31 日までに学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- （11）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの

注 1. 出願資格（3）、（4）、（6）又は（9）～（11）のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、16 ページの「5. 出願資格の確認又は審査」を参照の上、申請受付期間に申請書類を提出してください。

注 2. 障がいや有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、平成 28 年 11 月 16 日（水）までに医学科学務係に相談してください。

### 3. 出 願 手 続

#### (1) 出願手続期間

**平成28年12月8日(木)～12月15日(木)(必着)**

(持参の場合) 受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

(郵送(書留速達に限る)の場合) 出願期間内に必着とします。

#### (2) 出願書類等(①②⑤⑦⑩⑪⑫は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①入 学 志 願 票	裏面(履歴書)も必ず記入してください。なお、「 <b>検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b> 」を所定欄に確実にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
②受 験 票 ・ 写 真 票	写真(出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください)をそれぞれにはってください。
③卒 業 証 明 書 又は卒業見込証明書	出身大学(学部)長が作成したものとします。
④成 績 証 明 書	出身大学(学部)長が作成し厳封したものとします。 大学院研究科修士(博士前期)課程修了者は、学部在籍時の成績証明書を提出してください。
⑤志 望 理 由 書	必要事項を記入してください。
⑥在留カードの写し又は パスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は、在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑦受 験 承 諾 書 ※該当者のみ	出願時に在職中の者は、所属長の職印で承諾されたものを提出してください。
⑧学 位 授 与 証 明 書 ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑨短期大学又は高等専門 学校の専攻科の修了 (見込み)証明書及び 学士の学位授与申請書 の受理証明書(又は学 士の学位授与を大学改 革支援・学位授与機構 に申請予定である旨の 証明書) ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。(13ページの「2. 出願資格」(2)の、授与される見込みの者) 専攻科の修了(見込み)証明書及び学位授与申請予定の証明書は、出身(在籍)短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑩返 信 用 封 筒	封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」の小封筒には郵便切手372円分をはってください。 「合格通知書在中」の小封筒及び「入学手続書類在中」の大封筒には郵便切手をはる必要はありません。
⑪検 定 料 30,000 円	本要項に添付の「 <b>振込依頼書(新潟大学大学院医歯学総合研究科(修士課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)</b> 」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、 <b>必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</b> なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。

	<p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、平成28年12月1日（木）～12月15日（木）〔15時00分〕までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日の振込みはできません。）</p> <p>③ ATM（現金自動預払機）での振込みはできません。</p>
⑫検定料納付証明書 （新潟大学提出用）	<p><b>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を入学志願票の所定欄にはってください。</b></p> <p>（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>

### (3) 出願方法

上記①～⑩及び⑫の出願書類を郵送（書留速達）又は持参してください。

なお、郵送の場合は、本要項に添付の指定封筒（「大学院修士課程出願書類在中」）を使用してください。

### (4) 提出先 新潟大学医学部医学科学務係

（〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地）

注1. 提出後の出願書類の内容変更は認めません。

注2. 既納の検定料及び出願書類は、返還しません。

ただし、検定料払込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000円）を返還します。

詳細は、本学ホームページ（HOME>入学を希望する方 ○授業料等の学費と奨学金等の支援制度についてお知りになりたい方はこちらへ>納付済検定料返還手続）を参照してください。

<http://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/general/return-fee/>

なお、請求書の郵送を希望される方は、財務部資産管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学財務部資産管理課収入係

電話（025）262-6053

注3. 出願書類③、④及び⑦の証明書、承諾書の印は、個人印・社印ではなく、大学長・学部長あるいは社長・支店長等の、職を表す印に限ります。

## 4. 選抜方法

入学者の選抜は、外国語科目、小論文、面接の結果及び出願書類を総合して行います。

### (1) 試験日時・場所

期	日	時 間	科 目 等	試 験 場
平成29年1月19日（木）		9:30～11:00	外国語（英語）	新潟大学医学部 第5講義室
		11:20～12:20	小論文	
		13:30～14:30	面接（第1志望）	教育研究分野の 指定する場所
		14:30～	面接（第2志望）	

\*外国語（英語）は辞書（英和・和英）の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び医学辞書は不可とします。

### (2) 合格発表

**平成29年2月22日（水）** 午前10時

医学部大講義室前に合格者の受験番号を掲示により発表すると同時に、合格者には、合格通知書を郵送します。

なお、電話での可否に関する問い合わせには、一切応じません。

## 5. 出願資格の確認又は審査

「2. 出願資格(3), (4), (6)又は(9)～(11)」のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、申請受付期間に申請書類を提出してください。

### (1) 申請受付期間

**平成28年11月7日(月)～11月16日(水)**

〈持参の場合〉受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送の場合〉申請受付期間内に必着とします。

### (2) 「2. 出願資格(3), (4)又は(9)～(11)」の申請書類(①及び④の研究業績調書は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①出願資格確認・審査申請書	必要事項を記入してください。
②最終学歴に関する証明書	卒業(修了)証明書, 成績証明書(短期大学の専攻科又は高等専門学校)の専攻科を卒業(修了)した者は, 短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書, 成績証明書を併せて提出してください。)
③最終学歴の学校に関する資料	入学資格, 卒業(修了)要件, 修業年限が記載されている資料(学則・規程, 学生便覧等の写し)を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
④その他学修・研究に関する資料	科目等履修生等で学修した者は, 科目等履修生等の成績証明書等を提出してください。また, 研究業績がある者は, 研究業績調書及び論文の別刷又は写し等内容が確認できる資料を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑤在学期間証明書又は退学証明書	中途退学者は, 出身大学(学部)長が作成したものを提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑥在留カードの写し又はパスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は, 在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし, 渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑦返信用封筒	封筒(長形3号)に志願者の郵便番号, 住所及び氏名を明記し, 郵便切手362円分をはってください。

※「2. 出願資格(6)」の申請書類は、医学科学務係から指示しますので、「7. その他」の問い合わせ先に連絡してください。

### (3) 提出先 新潟大学医学部医学科学務係

(〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地)

注1. 提出後の申請書類の内容変更は認めません。また、申請書類は返還しません。

注2. 外国語で記載された書類には、日本語の訳文を添付してください。

### (4) 出願資格の確認又は審査

確認又は審査は、提出された申請書類により行います。

### (5) 確認又は審査の結果通知

結果は、確認又は審査終了後すみやかに申請者宛に通知します。

## 6. 入 学 手 続

入学手続期間： 平成29年2月28日（火）～3月2日（木）（必着）

郵送又は持参してください。郵送の場合は、書留速達とし、持参の場合は午前8時30分から午後5時までとします。

入学手続に必要な提出書類等の詳細については、合格者に別途通知します。

## 7. そ の 他

出願手続後、現住所又は連絡先に変更が生じた時は、すみやかに医学科学務係に連絡してください。

<問い合わせ先>

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地

新潟大学医学部医学科学務係

電話 (025) 227-2017

IV. 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
医科学専攻（修士課程）入学案内

# 新潟大学大学院医歯学総合研究科

## 医科学専攻（修士課程）入学案内

### 1. 修業年限

修士課程 標準修業年限2年

### 2. 履修方法

本研究科において2年以上在学し、研究指導を受け、必修科目30単位の修得を要します。

### 3. 学位授与

本研究科に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士（医科学、英訳：Master of Biomedical Science）を授与します。

### 4. 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円（予定額）

(注) 入学料を現金で振込む場合には、金融機関の窓口において、振込みを行う者の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポート等）の提示が必要となります。

本人確認書類の提示がない場合には、現金による振込みができませんので注意してください。

(2) 授業料（前期分）267,900円（後期分）267,900円（年額535,800円）（予定額）

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時より新授業料が適用されます。

### 5. 入学料免除

次の(1)～(3)に該当する者のうち、入学手続期間内に所定の申請を行った者については、選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

(1) 経済的理由により入学料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

(2) 入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者

(3) 上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

### 6. 授業料免除

次の(1)～(3)に該当する者のうち、入学後、所定期間内に申請を行った者については、選考の上、学期（前期・後期）ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

(1) 経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

(2) 授業料の当該期の納期前6か月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）又は納期中に、学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる者

(3) 上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者



## 7. 奨学金制度（外国人留学生を除く。）

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は、下記のとおりです。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び経済的事情を審査し、選考の上、適格者を日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

貸与月額（平成 28 年度の場合）

第一種 50,000 円, 88,000 円から選択

第二種 5 万円, 8 万円, 10 万円, 13 万円, 15 万円から選択

### **1. Term of Study**

Master's Program: two years (at least)

### **2. Requirement for completion**

The student is required to register for at least two years in this course, receive the guidance for research of medical science, and to master thirty units of the compulsory subjects.

### **3. Presentation of Diplomas**

Niigata University confers the degree of Master of Biomedical Science on the student satisfying the above conditions (see Section 2) and passing both his/her thesis for master and graduation examination.

### **4. Fees**

- (1) Entrance Fee: ¥282,000 (estimated)
- (2) Tuition Fee: ¥535,800 per year (estimated)

### **5. Exemption and Reduction of Entrance Fee**

The student can be exempted from the total or one-half of entrance fee upon our selection if one applies at the entrance procedures. One of the following conditions must be satisfied:

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.
- (2) The student who has serious difficulties to pay the entrance fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within a year prior to the entrance.
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

### **6. Exemption and Reduction of Tuition Fee**

The student can be exempted from the total or one-half of tuition fee upon our selection if one applies after the entrance. One of the following conditions must be satisfied

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.

- (2) The student who has serious financial difficulties to pay the tuition fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within half year prior to the date of payment of tuition fee (in case of new students; within a year prior to the entrance.)
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

## ○ 「教育方法の特例」〔大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 14 条に定める教育方法の特例〕による教育について

医療・保健・福祉施設，教育研究機関，官公庁，企業等において活躍中の社会人が本研究科で学ぶ場合，2年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが，このような就学条件を満たすことは一般的に難しいことです。

そこで，このような社会人学生に対しては，大学院設置基準第 14 条の「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」の規定に基づき，教育方法の特例を実施します。

この特例により，学生は，それぞれの研究テーマに応じ，指導教員と協議の上，通常の授業形態のほか，夜間講義や週末又は夏期等の休業期間における集中講義等による単位修得の便宜を受けて研究を継続させ，修士論文を作成することができます。

## ○ 長期にわたる教育課程の履修について

この制度は，学生が職業を有しているなどの理由により，標準修業年限（2年）を超えて上限2年まで，計画的に教育課程を履修し，修了することができる制度です。

入学時に申請し認められた場合の授業料は，正規の修業年限の期間の2年間分でのよいこととなります。

# 新潟大学大学院医歯学総合研究科

## 医科学専攻（修士課程）教育研究分野一覧

\* e-mailは、「niigata-u.ac.jp」の表記を、Telは「025（市外局番）－227（局番）」の表記を省略しています。（連携大学院先端分子病態学分野を除く。）

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
肉眼解剖学 Tel：2045	佐藤 昇 nsato@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・末梢神経系の解剖学とその形成に関する研究</li> <li>・遺伝子改変動物モデルを用いた中枢神経系の機能解剖学</li> <li>・形態形成における比較解剖学とその進化的考察</li> <li>・生体への遺伝子導入法の開発・改良</li> </ul>
神経生物・解剖学 Tel：2053	竹林 浩秀 takebaya@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経系の発生・生後発達の神経生物学的研究</li> <li>・神経幹細胞から特異的ニューロン・グリア細胞を産み出すメカニズムの解析</li> <li>・RNA 制御を介した神経系細胞機能の解析</li> <li>・再生医学による神経難病克服を目指した基礎研究</li> <li>・神経変性疾患モデル動物の病態解析</li> <li>・高次脳機能を担う神経回路の解析</li> <li>・脳の左右差形成機構とその生理学的意義</li> </ul> <p>*当分野では、神経系の発生・発達のメカニズム、神経難病の病態解析などの神経科学研究を行っています。修士学生が、自分で出した実験結果を学会や論文により発表し、ディスカッションできるようになることを目指して指導します。詳しくは研究室ホームページを参考にしてください。</p>
顕微解剖学 Tel：2058	牛木 辰男 t-ushiki@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞と組織の構造機能解析とイメージング</li> <li>・走査型プローブ顕微鏡（原子間力顕微鏡や走査イオン伝導顕微鏡）の医学生物学応用</li> <li>・電子顕微鏡法、特に走査電子顕微鏡法の開発と医学生物学応用</li> </ul>
神経生理学 Tel：2068	長谷川 功 isaohasegawa@med.	<p>ヒトは、馬に翼の生えたペガサスという怪物を、たとえ一度も見たことがなくとも頭の中で空想することができます。このような高次の知的能力が脳のどのようなはたらきによってもたらされるのかは、人類にとって深遠なる謎です。人間自身の知性の源を、実験で検証可能な仮説におきかえて、一步一步、科学的に解明することがわたしたちの研究目標です。この目標を実現するため、ヒトに近縁のサルで脳の高次機能に独自の切り口で迫るための動物モデルを開発し、また脳の広い範囲に網をかけるようにして張りめぐらせるための電極をつくりました。これらのアプローチにより、脳と知性の根源的な謎を探求しながら、一方で脳の中</p>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		<p>の情報を読みとって意思伝達の困難な患者を支援する革新的医療機器の開発も目指しています。研究室では、動物実験，工学，臨床医学など多様な分野の専門家が一堂に会して，日々切磋琢磨しています。バックグラウンドは問わず，『知性をもたらす脳』の神秘に挑む熱意のある人を歓迎します。研究テーマは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚イメージを生み出す脳の謎</li> <li>・文字は脳の中でどのように処理されるのか？</li> <li>・意図を読みとる脳回路の動態と自閉症での病態</li> <li>・光によって脳活動を操作する技術の開発</li> </ul>
<p>分子生理学 Tel : 2071</p>	<p>日比野 浩 hibinoh@med.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内耳聴覚機能を支える特殊体液の電気生理学的研究</li> <li>・内耳体液環境と聴覚感覚細胞の生理連関の計算科学的解析</li> <li>・内耳機能が立脚するタンパク質や糖鎖などの網羅的同定とそれらの意義の理解</li> <li>・難聴を惹起する遺伝子改変動物の解析と病態生理連関の解明</li> <li>・理工学の先端技術を駆使した器官機能・薬物動態の生体内計測装置の新規開発</li> </ul>
<p>分子生物学 Tel : 2077</p>	<p>小松 雅明 komatsu-ms@med.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オートファジーの分子機構の解析</li> <li>・オートファジーの高次機構の解析</li> <li>・細胞内タンパク質修飾システム Ufm1 システムの網羅的解析</li> </ul>
<p>分子細胞機能学 Tel : 2083</p>	<p>五十嵐 道弘 tarokaja@med.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経成長・再生とシナプス形成に関する生化学的研究</li> <li>・細胞外基質の細胞・臓器機能に関する研究</li> <li>・神経成長円錐の機能に関する分子レベルの研究</li> <li>・神経伝達と細胞内輸送の分子機構の研究</li> <li>・脳機能と再生に関するシグナル伝達の研究</li> </ul>
<p>分子薬理学 薬理学 Tel : 2087</p>	<p>樋口 宗史 hhiguchi@med.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高次中枢機能（感情・疼痛・摂食・多幸感）における神経ペプチドの役割</li> <li>・薬物による遺伝子転写制御の研究と転写因子</li> <li>・摂食調節に関わる神経遺伝子転写の研究と肥満</li> <li>・遺伝子転写制御因子の蛋白相互作用に関する研究</li> <li>・神経ペプチド，神経栄養因子受容体の分子薬理学</li> <li>・記憶・神経分化の分子神経生物学</li> <li>・循環器系作用薬の分子作用機序に関する研究</li> </ul>
<p>実験病理学 Tel : 2102</p>	<p>近藤 英作 ekondo@med.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん細胞とがん制御遺伝子の分子病理学研究</li> <li>・悪性腫瘍の病理組織学的研究</li> <li>・新規病理診断技術の開発研究</li> <li>・ナノ制がん医療技術の開発研究</li> </ul>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
細菌学 Tel : 2050	松本 壮吉 sohkichi@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細菌の病原性や生命現象の解明</li> <li>・感染病原体に対する体をまもるしくみ（免疫）の解析</li> <li>・感染症や難病に対するワクチン開発や創薬</li> <li>・アジアやアフリカにおける感染症の調査と国際協力</li> </ul>
ウイルス学 Tel : 2115	藤井 雅寛 fujimas@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレス応答の分子機構</li> <li>・ウイルス発ガンの発症機構</li> <li>・成人T細胞白血病の発症機構</li> <li>・ウイルスの感染から放出までの分子機構</li> <li>・ウイルスに対する宿主応答の分子機構</li> <li>・ウイルス病発症に関与する宿主因子の研究</li> <li>・抗ウイルス薬に関する研究</li> </ul>
社会・環境医学 Tel : 2124	中村 和利 kazun@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性疾患の予防医学研究を行っています。具体的には下記のテーマの研究が現在行われていますが、これら以外のテーマの研究も行うことは可能です。</li> <li>・村上地域を中心とした加齢性疾患予防の大規模コホート研究（認知症，骨粗鬆症性骨折，膝関節症，身体機能低下，慢性疼痛など）</li> <li>・認知症予防のためのオミックス研究（プロテオミクス研究など）</li> <li>・胆のうがんの国際分子疫学研究（ペルー，ボリビア，チリ，インド）</li> <li>・ビタミンD・カルシウムの疾病予防効果に関する研究</li> <li>・環境医学，産業医学</li> </ul>
国際保健学 Tel : 2129	齋藤 玲子 jasmine@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際保健</li> <li>・インフルエンザウイルス感染症の治療効果，ウイルスの検出（ウイルス分離・培養，PCR），進化の解析（遺伝子解析），薬剤耐性インフルエンザの検出（薬剤感受性試験）</li> <li>・インフルエンザ・ワクチンの効果</li> <li>・RSウイルス感染症の分子疫学，地域における伝播解析</li> <li>・海外のインフルエンザの調査（ミャンマー，マレーシア，レバノン，ベトナムなど）</li> <li>・J-GRID「ミャンマーにおける呼吸器感染症制御へアプローチ」</li> <li>・呼吸器ウイルスの検出</li> <li>・GIS（地理情報システム）地図を用いた感染症の伝播解析（インフルエンザやRSウイルスの地理的伝播経路の解析）</li> <li>・GISを用いた地域のソーシャルキャピタル（地域のつながり・幸福度）と健康の評価</li> <li>・GISを用いた福島県南相馬市における放射能汚染地図の作成</li> <li>・GISを用いた地域における高齢者の介護・医療の評価</li> <li>・地域医療計画</li> </ul>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
免疫学・医動物学 Tel : 2133	片貝 智哉 katakai@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マウスを用いた免疫担当細胞の基礎的研究</li> <li>・リンパ節や脾臓を中心とした免疫組織の構造と機能</li> <li>・免疫組織のストローマ細胞の性質と免疫学的機能</li> <li>・生体イメージングによる免疫細胞の動態</li> <li>・免疫関連疾患における免疫細胞と組織環境</li> </ul>
法医学 Tel : 2146	高塚 尚和 hisakazu@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法医病理学</li> <li>・法医画像診断学</li> <li>・法医中毒学</li> <li>・子供の虐待とネグレクト</li> <li>・歯科法医学</li> </ul>
機能制御学 Tel : 2156	神吉 智丈 kanki@med.	<p>ミトコンドリアは細胞の活動に必要なエネルギーを作る重要な小器官です。ミトコンドリアの質や量が低下するとエネルギーが足りなくなり、細胞は正常に活動できなくなってしまいます。近年、ミトコンドリアは神経変性疾患や糖尿病など様々な疾患や老化と深く関連することが明らかになってきました。研究室では、ミトコンドリアの質や量がどのように維持されているかなど、ミトコンドリア機能と健康に関する研究を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異常なミトコンドリアを排除するミトコンドリアオートファジーと呼ばれる現象の分子機構の解明</li> <li>・ミトコンドリアオートファジーの生理的意義の探索</li> <li>・ミトコンドリアが原因となる疾患の治療法開発</li> <li>・新しいミトコンドリア解析技術の開発</li> </ul>
構造病理学 Tel : 2152	問合せ先 准教授 矢尾板 永信 eyaoita@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞間接着装置と細胞骨格を中心とした腎糸球体上皮細胞特性の解析</li> <li>・腎糸球体上皮細胞の培養法の確立</li> <li>・腎糸球体上皮細胞を中心とした糸球体構築の解析</li> </ul> <p>*当分野は、医歯学総合研究科附属腎研究施設に属する分野で主に細胞生物学的手法により腎臓病克服に向けた研究を行っている。</p>
分子病態学 Tel : 2160	河内 裕 kawachi@med.	<p>研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腎臓の解剖生理学</li> <li>・腎疾患の病理診断法</li> <li>・腎疾患モデル動物の作成法</li> <li>・腎固有細胞の培養法</li> <li>・慢性腎臓病の発症・進行メカニズムの解明</li> <li>・慢性腎臓病の新規治療法・診断法の開発</li> <li>・腎臓病と他臓器疾患発症との共通メカニズムの解明</li> <li>・腎臓の濾過ユニットである糸球体の発生、成熟機構の解明</li> <li>・糸球体の濾過機能の異常により起こる蛋白尿の発症メカニズムの解明</li> <li>・腎局所におけるレニン・アンジオテンシン系の機能、病態形成における役割の解明</li> </ul> <p>*当分野は、医歯学総合研究科附属腎研究施設に属す</p>



教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		<p>る分野で腎臓病克服に向けた基礎研究を行っている。</p> <p>教育方針</p> <p>腎臓分野での研究を通じ、研究倫理、実験法の基礎、実験結果の分析法などを指導する。また学会発表、論文発表法の指導を行い、2年間で研究者としての基盤ができるように教育する。</p>
<p>総合医学教育学 Tel : 0273</p>	<p>鈴木 利哉 toshya@med.</p>	<p>医学教育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学教育カリキュラム研究</li> <li>・医学教育教授法研究</li> <li>・医学教育学生評価法研究</li> <li>・シミュレーション医学教育研究</li> <li>・医学教育認証評価研究</li> <li>・医学教育量的研究・質的研究</li> </ul> <p>日本医学教育学会大会，世界医学教育学会（AMEE）等の学会で研究成果を発表します。</p>
<p>循環器内科学 Tel : 2182</p>	<p>南野 徹 tminamino@med.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老化に関する基礎・臨床研究</li> <li>・生活習慣病に関する基礎・臨床研究</li> <li>・心血管の再生医療に関する基礎・臨床研究</li> <li>・動脈硬化症疾患に関する基礎・臨床研究</li> <li>・不整脈の発症機序と治療に関する基礎・臨床研究</li> <li>・心不全の発症と進展に関する基礎・臨床研究</li> </ul>
<p>血液・内分泌・代謝内科学 Tel:025-368-9026</p>	<p>曾根 博仁 sone@med.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が勉強してきた専門分野を，医療現場に役立つ研究に活かしてみたいと思いませんか？糖尿病など生活習慣病・動脈硬化分野と白血病・悪性リンパ腫など腫瘍分野に，多分野の研究参加者を募集中です。</li> <li>・特に患者さんを対象にした学際的研究を，看護師，臨床検査技師，薬剤師，栄養士含む食物学系，運動療法士含む体育学系，臨床心理士含む心理学系，教育学系，生物学系，数学・統計学・情報学・工学系，経済学系など多くの分野出身者と実施可能です。</li> <li>・たとえば予防・予測（医療ビッグデータやオミックスデータの解析）や精神面も含む全身治療（例：食事・運動モチベーション，運動による予防・治療，患者教育），医療経済，生活習慣病（エネルギー代謝，炎症など）や腫瘍（遺伝子異常，幹細胞，免疫療法，分子標的療法など）の細胞分子生物学的メカニズムの解明など，具体的テーマは希望に応じて幅広く対応可能なのでメールで相談してください。</li> <li>・細胞治療認定管理師，臨床培養士などの受験資格も取得可能です。</li> </ul>
<p>腎・膠原病内科学 臨床感染制御学</p>	<p>成田 一衛 naritai@med.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腎疾患・高血圧に関する研究</li> <li>・原発性糸球体腎炎に関する研究</li> <li>・糖尿病・メタボリック症候群に関する研究</li> </ul>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
Tel : 2192		<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病性腎症の発症と進行に関する研究</li> <li>・腎不全の治療に関する研究</li> <li>・腎不全に伴う貧血の研究</li> <li>・腎機能低下に伴う骨・ミネラル代謝異常の研究</li> <li>・リウマチ・膠原病・アレルギー疾患に関する研究</li> <li>・免疫不全と感染症に関する研究</li> </ul>
呼吸器・感染症内科学 Tel : 2200	菊地 利明 kikuchi@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺がん幹細胞を標的とした新規治療法の開発</li> <li>・肺がん化学療法時の腎障害予測因子の開発</li> <li>・気管支喘息の舌下免疫療法の開発</li> <li>・抗インターフェロンγ自己抗体の臨床的解析</li> <li>・炎症性肺疾患における元素分析</li> <li>・抗ミトコンドリア抗体と呼吸不全との関連解析</li> <li>・非結核性抗酸菌症の分子疫学的解析</li> </ul>
消化器内科学 肝臓病学 Tel : 2202	寺井 崇二 terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器疾患に対する修復再生療法の開発研究</li> <li>・消化器疾患に対する遺伝子治療に関する研究</li> <li>・消化器疾患の進展における免疫学的関与に関する研究</li> <li>・消化器癌の病態生理に関する研究</li> <li>・消化器疾患の代謝炎症に関する研究</li> <li>・消化・吸収・代謝制御に関する研究</li> <li>・栄養・サルコペニアに関する研究</li> <li>・腸内細菌と生体制御に関する研究</li> <li>・消化管運動，血流に関する研究</li> <li>・消化器疾患の内視鏡学診断，治療に関する研究</li> <li>・生体材料（バイオマテリアル）の臨床応用に関する研究</li> <li>・消化器疾患に関する尿プロテオミクス研究</li> <li>・ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究</li> <li>・ウイルス性肝炎の治療法に関する研究</li> <li>・胆道，膵悪性腫瘍の遺伝子診断に関する研究</li> <li>・Undiagnosed diseaseに関する研究</li> </ul>
分子精神医学 精神医学 Tel : 2209	染矢 俊幸 psy@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床精神薬理学</li> <li>・精神疾患の分子遺伝学</li> <li>・Neuroimaging</li> <li>・発達精神医学</li> <li>・分子神経生物学</li> <li>・精神科診断学</li> <li>・心理教育</li> </ul>
小児科学 小児保健学 Tel : 2222	齋藤 昭彦 asaitoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児・未熟児の発達生理に関する研究</li> <li>・小児腎疾患に関する研究</li> <li>・分子生物学的研究（悪性腫瘍，循環器，腎，内分泌，感染症など）</li> <li>・小児生活習慣病に関する研究</li> <li>・小児感染症，特にウイルス感染症に関する研究</li> </ul>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
腫瘍外科学 消化器・一般外科学 Tel：2228	若井 俊文 wakait@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腫瘍外科学</li> <li>・外科代謝・栄養学</li> <li>・肝移植・膵移植と免疫学</li> <li>・癌特異的蛋白質に関する研究</li> <li>・細胞の不死化と腫瘍形成に関する研究</li> <li>・癌の浸潤能および転移能に関する研究</li> <li>・蛍光免疫染色を用いた DNA 損傷修復の解明</li> <li>・抗癌剤耐性機序の解明</li> </ul>
呼吸循環外科学 Tel：2240	土田 正則 masatsu@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺癌の臨床病理学的研究</li> <li>・心臓外科における機能評価解析</li> <li>・血管疾患の分子・病理学的研究</li> <li>・外科治療と血液凝固異常の研究</li> <li>・肺移植の基礎研究</li> </ul>
整形外科学 リハビリテーション医学 Tel：2269	遠藤 直人 endless@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器の修復・再生に関する研究</li> <li>・骨・関節のバイオメカニクスの研究</li> <li>・脊椎・脊髄疾患の病態と治療の研究</li> <li>・手の外科の研究</li> <li>・骨・軟部腫瘍の研究</li> <li>・関節リウマチの病態と治療の研究</li> <li>・運動器リハビリテーションと QOL の研究</li> <li>・骨粗鬆症，骨代謝に関する研究</li> <li>・生活設計，生活支援に関する研究</li> <li>・スポーツ医学に関する研究</li> <li>・四肢，骨盤，脊椎・脊髄の外傷に関する研究</li> <li>・小児運動器疾患に関する研究</li> </ul>
形成・再建外科学 Tel：2593	松田 健 matsuken@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微小外科の研究</li> <li>・四肢再建外科の研究</li> <li>・頭頸部再建の研究</li> <li>・末梢神経再生の研究</li> <li>・顎顔面外科の研究</li> <li>・唇裂・口蓋裂の研究</li> <li>・胸壁・乳房再建の研究</li> <li>・同種組織移植の研究</li> </ul>
小児外科学 Tel：2254	窪田 正幸 mkubota@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児先天性外科疾患の QOL 向上を目指した外科治療の開発</li> <li>・小児の固形悪性腫瘍治療成績向上のための Niigata Tumor Board 研究</li> <li>・小児に適切な術前・術後の輸液・栄養管理の検討</li> <li>・小児期肝胆道外科疾患の病態解明と至適外科治療法の開発</li> <li>・小児における鏡視下手術の適応拡大と新規術式の工夫</li> <li>・小児における新規薬物療法（bFGF，漢方）の開発</li> <li>・消化管運動機能異常症の病態と生理</li> </ul>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>消化管運動機能異常症の新しい治療としての腸管ペーシング</li> <li>仙骨部高頻度磁気刺激法を用いた骨盤臓器機能回復のための神経調節</li> <li>形状記憶合金コイルを用いた人工気管の開発</li> </ul>
皮膚科学 Tel : 2282	阿部 理一郎 aberi@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>毛組織の研究</li> <li>毛組織関連遺伝子発現の研究</li> <li>皮膚電子顕微鏡学</li> <li>皮膚アレルギー学</li> <li>皮膚遺伝性疾患の研究</li> </ul>
腎・泌尿器病態学 分子腫瘍学 Tel : 2284	富田 善彦 ytomita@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>腎の構造と機能</li> <li>泌尿器科学一般</li> <li>泌尿生殖器腫瘍の基礎と分子生物学</li> <li>泌尿生殖器腫瘍の治療</li> <li>泌尿器生理学と神経学</li> <li>尿路形成手術</li> <li>泌尿器科内視鏡学</li> <li>アンドロロジー</li> <li>腎移植と腎機能再建</li> </ul>
眼科学 Tel : 2296	福地 健郎 tfuku@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑内障の病態解明と治療法の開発に関する研究</li> <li>眼科手術学とレーザー治療に関する研究</li> <li>眼感染症と化学療法, 眼薬理学</li> <li>眼病理学</li> <li>神経眼科学</li> <li>小児眼科学</li> <li>臨床視覚電気生理学</li> <li>視機能とQOLの研究</li> <li>緑内障患者のロービジョンケアの研究</li> </ul>
耳鼻咽喉・頭頸部 外科学 Tel : 2303	堀井 新 ahorii@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>平衡神経科学</li> <li>神経耳科学</li> <li>側頭骨外科学</li> <li>鼻科学</li> <li>口腔咽頭科学</li> <li>音声言語学</li> <li>頭頸部外科学</li> <li>頭蓋底外科学</li> <li>喉頭・気管・食道科学</li> </ul>
腫瘍放射線医学 機能画像医学 Tel : 2315	青山 英史 h-aoyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線照射の精度が治療結果に与える影響に関する数式モデルを用いた研究</li> <li>放射線照射の線量分割の違いが QOL や認知機能に与える影響に関する研究</li> <li>転移性脳腫瘍における定位照射併用時の全脳照射法最適化に関する全国多施設共同研究</li> <li>前立腺癌の強度変調放射線治療, 小線源治療後の予</li> </ul>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>後・QOLに関する研究</li> <li>画像誘導による照射精度向上に関する研究</li> <li>肺腫瘍の画像診断に関する研究</li> <li>循環器疾患の新たな画像映像法の応用に関する研究</li> <li>画像診断手技を用いた種々の治療法に関する研究</li> <li>中枢神経疾患の画像診断に関する研究</li> </ul>
生殖器官制御 生殖医学病態解析 Tel : 2317	榎本 隆之 enomoto@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>婦人科癌の遺伝子診断・新規原因遺伝子の同定</li> <li>婦人科癌・子宮内膜症の分子生物学的研究</li> <li>生活習慣病の発症・予防に関する分子生物学的解析</li> <li>不育症と同種免疫</li> <li>胎児出生前診断</li> <li>男性不妊，顕微受精</li> </ul>
麻酔科学 Tel : 2323	馬場 洋 baba@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>麻酔薬の作用メカニズム</li> <li>急性痛のメカニズムと術中術後痛管理</li> <li>神経障害性痛のメカニズムと治療法</li> <li>臨床神経生理・神経病理（術中神経系モニタリング）</li> <li>臨床呼吸循環生理（術中呼吸循環モニタリング）</li> </ul>
予防医療学 Tel : 2332	問合せ先 准教授 松戸 隆之 matsuto@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床検査の方法論</li> <li>各種検査法の特性と臨床的意義</li> <li>統計学的精度管理手法</li> <li>時系列データのデータ解析手法</li> <li>予防医学の方法論</li> <li>疫学的統計解析</li> <li>予防に寄与する検査法の開発</li> <li>身体リズムの変動機構の解明と特徴抽出</li> <li>神経系の集団的同期機構の解明</li> </ul>
救命救急医学 Tel : 2338	遠藤 裕 endoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療体制に関する研究</li> <li>病院前診療に関する研究</li> <li>重症患者管理に関する研究</li> <li>器械的臓器補助に関する研究</li> <li>生体信号とモニタリングに関する研究</li> </ul>
腫瘍内科学 Tel:025-368-9004	西條 康夫 yasosj@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>腫瘍内科学一般</li> <li>がん薬物療法，特に分子標的治療に関する研究</li> <li>iPS細胞を用いた臓器再生に関する研究</li> </ul>
分子・診断病理学 分子・病態病理学 Tel : 2093	味岡 洋一 ajioka@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>食道癌，胃癌，大腸癌の発生と生長様式の解明</li> <li>潰瘍性大腸炎，クローン病などの炎症性腸疾患に発生する大腸・小腸癌に関する多角的な研究</li> <li>癌の悪性度診断の精度向上に関する研究</li> <li>外科病理診断学</li> <li>計量形態診断学</li> <li>食道癌，胃癌，大腸癌の内視鏡画像診断の向上のための基礎的研究</li> </ul>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
生殖医学病態解析 Tel : 2320	高桑 好一 obgy@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不育症と同種免疫</li> <li>・ 生殖異常と自己免疫異常</li> <li>・ 妊娠高血圧症候群の病態と免疫異常</li> <li>・ 生殖異常と遺伝子多型</li> </ul>
薬剤評価学 Tel : 2248	外山 聡 toyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬物投与設計（オーダーメイドの薬物治療を含む）</li> <li>・ 臨床試験（治験を含む）</li> <li>・ 薬剤経済学</li> <li>・ 薬物治療とリスクマネジメント（副作用および有害事象を含む）</li> <li>・ ドラッグデリバリーシステムと薬効</li> </ul>
情報科学・統計学 Tel : 2471	赤澤 宏平 akazawa@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床試験デザイン立案の実践的な演習</li> <li>・ 医学統計学の解析手法と解析事例の検討</li> <li>・ 生存時間データの解析演習</li> <li>・ 電子カルテシステムの設計法と導入効果の評価</li> <li>・ 医療経済・費用対効果分析の演習</li> </ul> <p>*医療情報技師，統計士，統計検定，データマネジャー等の資格取得・検定の指導・助言も行います。</p>
トランスレーショナルリサーチ 臨床免疫学 Tel : 0847	中田 光 radical@med.	<p>① サイトカインに対する自己抗体が原因である肺胞蛋白症について，カニクイザルの疾患モデルを用いて，自己抗体の産生機序を解明する。</p> <p>② GM-CSF 自己抗体の重鎖，軽鎖遺伝子の親和性成熟の過程を次世代シーケンスとバイオインフォマティクスにより解明する。</p> <p>③ 慢性炎症の発症・進展機構をマウスモデルを用いて解明し，自己免疫性疾患などの難治性疾患の新規治療法を探索する。</p> <p>[臨床培養士養成プログラム] 再生医療に用いる細胞シートの製造法を学ぶ。再生医療のノウハウ，制度面の勉強を本院細胞プロセッシングセンターで実務体験をする。日本再生医療学会臨床培養士資格取得を目指す。 ご興味のある方は，以下のURLをご参照ください。 <a href="http://bmrctr.jp/">http://bmrctr.jp/</a></p> <p>[遺伝カウンセリング実地研修] 遺伝子診療部門で遺伝カウンセリングに立ち会い，カウンセリングのノウハウを学ぶ。</p>
総合診療医学 Tel : 0718	問合せ先 准教授 長谷川 隆志 htaka@med.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全人的医療の実践に関する研究</li> <li>・ 卒前医学教育・卒後臨床研修・後期専門研修・生涯医学教育の一貫性に関する研究</li> <li>・ 多職種連携・チーム医療に関する研究</li> <li>・ Common Diseases, プライマリ・ケアに関する研究</li> </ul>
分子神経生物学 Tel : 0613	那波 宏之 hnawa@bri.	<p>脳の発達とその障害における分子神経生物学</p> <p>① シナプス分化・発達を調節する神経栄養因子とそのシグナルの実態解明</p> <p>② ドパミン神経の発火特性変化とその調節因子の研究</p> <p>③ サイトカインを用いた精神神経のモデル動物の作製</p>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		<p>とその機能評価</p> <p>④統合失調症の脳内遺伝子発現変化とその原因究明</p> <p>⑤新規の抗精神病薬の探索と評価</p>
<p>細胞神経生物学</p> <p>Tel : 0619</p>	<p>崎村 建司</p> <p>sakimura@bri.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎神経化学</li> <li>・分子神経生物学</li> <li>・組換え DNA の原理と応用</li> <li>・タンパク質生化学</li> <li>・発生工学の基礎と応用</li> <li>・ES 細胞の培養法</li> <li>・ノックアウトマウス作成の実際</li> <li>・基礎的電気生理学</li> <li>・神経系の形態学</li> <li>・マウス行動解析の実際</li> <li>・シナプス機能分子の解析</li> <li>・疾患動物モデルの解析</li> </ul> <p>本分野では、遺伝子工学と発生工学を駆使した脳機能解析モデル動物を系統的に作出しており、内外の研究者達と共同で解析を進めている。その環境で神経科学の基礎と遺伝子改変動物の作製法を学ぶことができる。詳細は部門のホームページを参照のこと。</p> <p><a href="http://www.bri.niigata-u.ac.jp/~cellular/">http://www.bri.niigata-u.ac.jp/~cellular/</a></p>
<p>システム脳生理学</p> <p>Tel : 0625</p>	<p>澁木 克栄</p> <p>shibuki@bri.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大脳皮質感覚野の機能解析</li> <li>・大脳皮質連合野の機能解析</li> <li>・光学的脳機能イメージングの研究と開発</li> <li>・行動学的解析法の研究と開発</li> </ul> <p>我々は、マウスの脳機能（特に大脳皮質の感覚野と連合野）の解析法の開発に取り組んでいます。主に光を用いたフラビン蛋白蛍光による脳機能解析，2光子顕微鏡を用いたニューロンレベルの解析，蛋白蛍光プローブを用いた解析などを中心に研究しています。またマウスの行動学的解析によって，複雑な高次機能を解析する方法の研究にも取り組んでいます。脳機能を直接個体レベルで解析し，目に見える形で直感的に研究する方法を学びたい人に適している研究室だと思えます。興味のある人は，気軽に左のメールアドレス宛てに連絡して下さい。</p>
<p>神経病理学</p> <p>Tel : 0641</p>	<p>問合せ先</p> <p>准教授 豊島 靖子</p> <p>yasuko@bri.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経変性疾患（アルツハイマー病，パーキンソン病，筋萎縮性側索硬化症など）の病理学</li> <li>・脳発生のメカニズムとその異常（てんかん，統合失調症など）の病理学</li> <li>・神経疾患の分子・細胞病理学</li> <li>・脳腫瘍外科病理診断学</li> </ul>

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
脳神経外科学 Tel : 0650	藤井 幸彦 yfujii@bri.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳機能温存の研究</li> <li>・脳機能再構築の研究</li> <li>・脳卒中後の機能回復メカニズムの研究</li> <li>・機能的脳疾患の病態・治療</li> <li>・脳腫瘍の病態・治療</li> <li>・脳血管障害の病態・治療</li> </ul>
神経内科学 Tel : 0663	小野寺 理 onodera@bri.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳や神経の病気の原因を明らかにして、その治療方法を開発します。</li> <li>・脳梗塞、認知症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症などの疾患を対象とします。</li> <li>・今の最先端の病態研究は総合格闘技の様な物です。手法手技ではなく、必要な物はどんどん取り入れて解決を目指します。</li> <li>・論理的に物事を考え、計画を立て、解決する能力を養います。</li> <li>・自分の考えを説得力をもって示せる能力を養います。</li> <li>・チーム形成能力を養います。</li> <li>・基礎医学系の研究だけではなく、患者さんに沿った研究を行います。</li> </ul>
脳機能解析学 Tel : 0676	問合せ先 生体磁気共鳴学分野 教授 五十嵐 博中 higara@bri.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能的磁気共鳴画像法を用いたヒト脳高次機能の研究</li> <li>・磁気共鳴分光法を用いたヒト脳代謝の研究</li> <li>・拡散磁気共鳴画像を用いたヒト脳の微細構造の研究</li> <li>・偏微分方程式モデルを用いたヒト脳機能の研究</li> </ul>
生体磁気共鳴学 Tel : 0676	五十嵐 博中 higara@bri.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核磁気共鳴法を用いた脳の水動態の研究</li> <li>・磁気共鳴分光法を用いた脳代謝の研究</li> <li>・超変極磁気共鳴分光法の生体応用</li> </ul>
脳病態病理学 Tel : 0673	柿田 明美 kakita@bri.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剖検による脳神経疾患の臨床病理学的研究</li> <li>・標本リソースを用いた神経精神疾患の病態病理学的研究</li> <li>・脳腫瘍やてんかん原生脳病巣の病態病理学的研究</li> <li>・神経変性疾患や神経免疫疾患の病態病理学的研究</li> <li>・発生発達期脳障害の病態病理学的研究</li> </ul>
神経病因遺伝学 Tel : 2343	池内 健 ikeuchi@bri.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルツハイマー病を中心とした認知症のトランスレーショナル研究</li> <li>・患者由来試料（脳脊髄液・血液）を用いたバイオマーカーの開発研究</li> <li>・次世代シーケンサーを用いた大規模ゲノム疾患解析研究</li> <li>・神経疾患の遺伝子診断・解析</li> <li>・神経疾患生体試料バンクの構築と運用</li> </ul>
発生・生殖工学 Tel : 2163	笹岡 俊邦 sasaoka@bri.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドーパミン等の神経伝達物質とその特異受容体に着目し、ヒトの運動調節や学習記憶の仕組みを明らかにする。</li> </ul>



教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝子工学技術・発生工学技術を用いて遺伝子操作動物を作成し，ヒトの疾患モデル動物を開発する。</li> <li>・ 認知症について多い神経疾患であるパーキンソン病の病因の解明と新規治療法の開発を目指した研究を行う。</li> <li>・ 実験動物の発生工学技術と生殖工学技術を確立し，研究推進に努める。</li> <li>・ 実験動物における胚・配偶子の凍結保存に関する研究を行なう。</li> <li>・ マウス胚バンクにおける基礎技術の開発と改良を行なう。</li> </ul>
分子神経疾患資源解析学		※今年度募集なし

教育研究分野	指導教員（准教授）	教育研究内容
神経発達学 Tel:2356	杉山 清佳 sugiyama@med.	<p>経験が脳の発達を促すメカニズムの解析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脳が柔軟に発達する時期（臨界期）に必要な遺伝子群の解明</li> <li>・ 視覚や情動の臨界期におけるホメオ蛋白質の役割の解明</li> <li>・ 経験によって脳内を動くホメオ蛋白質のユニークな機構を解析</li> <li>・ 脳の柔軟性を大人で再現するための方法を検討</li> </ul>

連携大学院（客員教授）

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
先端分子病態学	鎌田 正 t_kamada@nirs.go.jp	（独）放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院 ・重粒子線治療法の確立に関する研究
先端分子病態学 Tel：03-5316-3337	田中 啓二 tanaka-kj@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・細胞内タンパク質分解機構に関する分子から個体レベルに至る包括的研究 ・ユビキチン代謝系とその異常によって発症する疾病の機構解明 ・プロテアソームの構造と分子及び生理に関する研究，特にガン，神経変性，免疫の基礎と病態研究
先端分子病態学 Tel：03-5316-3228	村上 誠 murakami-mk@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・新しい創薬の標的分子固定をめざした脂質メダイエーターの生合成経路とその調整機構に関する包括的基盤研究 ・脂質代謝異常をキーワードとしたアレルギー，免疫疾患，肥満，神経疾患，皮膚疾患，癌，不妊症等の分子病態生物学
先端分子病態学 Tel：03-6834-2390	池田 和隆 ikeda-kz@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・依存症のゲノム解析，行動薬理学的解析，臨床応用研究 ・疼痛脆弱性および鎮痛薬感受性のゲノム解析，行動薬理学的解析，テーラーメイド医療への応用 ・自閉症，AD/HDなどの発達障害の行動薬理学的，分子生物学的研究 ・快・不快情動の分子メカニズム研究
先端分子病態学 Tel：03-5316-3311	吉川 欣亮 kikkawa-ys@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・哺乳類遺伝学を基盤とした視聴覚疾患の発症に関与する遺伝子群の同定と解析 ・ヒト疾患モデルマウスの樹立による個体レベルでの疾患発症機構の解明
先端分子病態学 Tel：03-6834-2373	星 英司 hoshi-ej@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・霊長類動物（サル）を用いたシステム神経科学 ・行動制御を支える前頭葉，大脳基底核，小脳の構造と機能 ・大脳基底核疾患と小脳疾患の病態生理機構
先端分子病態学 Tel：03-6834-2334 （デスク直通）	林 雅晴 hayashi-ms@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・急性脳炎・脳症，自閉症スペクトラム，難治てんかん，遺伝性DNA損傷修復障害などの脳発達障害に関する病理組織，生体試料を用いた臨床神経病理学的解析

連携大学院（客員教授）＜続き＞

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
先端分子病態学 Tel : 03-6834-2341	内原 俊記 uchihara-ts@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 NEUROMORPHOMICS: 分子, 電顕, 光顕, 病変分布を seamless に観察し, 臨床症状と関連づける ・ 認知症, パーキンソン病の早期神経突起病変に注目した特異的診断法の開発 ・ 電子顕微鏡像を光学顕微鏡と直接比較できる新技術の開発と応用

教育研究内容についての詳細は、以下のホームページをご覧ください。

○新潟大学医学部医学科 HOME>教育・研究活動紹介>研究内容一覧

<http://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/research/index.html>

○新潟大学医学部医学科 HOME>概要（講座, 教職員）

<http://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/summary/index.html>

○新潟大学医学部医学科 HOME>附属施設・関連施設

<http://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/kanren/index.html>

（注1） 志望する分野が決定している場合は、志望する研究分野の担当教員に必ず事前確認をしてください。教育研究分野により今年度は受け入れを行わない場合があります。

（注2） 第2志望がある場合は、第2志望分野の担当教員にも事前連絡をしてください。

（注3） 指導教員が不在の分野に志願する場合は、当該分野の問合せ先に相談してください。

（注4） 志望する分野が決められない場合は、下記の教員に相談してください。

○教育研究分野相談窓口

・小松 雅明（分子生物学分野）

025-227-2077 komatsu-ms@med.niigata-u.ac.jp

・中田 光（トランスレーショナルリサーチ／臨床免疫学分野）

025-227-0847 radical@med.niigata-u.ac.jp

不明な点は、新潟大学医学部医学科学務係までお問い合わせください。

Tel : 025-227-2017 E-mail : medgakum@med.niigata-u.ac.jp

## V. 本 研 究 科 所 定 用 紙

# 志 望 理 由 書

フリガナ 氏 名			※受験番号
学士の学位論文 (該当者のみ)	題 目		
第 1 志 望 教育研究分野		第 2 志 望 教育研究分野	
(本教育研究分野を第1志望にした理由を述べてください)			
(入学後の研究について)			

新潟大学大学院医歯学総合研究科

- (注意)
- 1 第2志望は教育研究分野名のみ記入してください。(第2志望がない場合は記入不要)
  - 2 パソコン等により作成する場合は、本様式に準じて別紙(A4判)に作成してください。
  - 3 ※印欄は記入しないでください。

(社会人入学者用)

平成 年 月 日

新潟大学大学院医歯学総合研究科長 殿

所属長

(職名)

氏名



## 受験承諾書

下記の者が新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻(修士課程)の入学試験を受験することを承諾いたします。

記

氏名

- 平成 28 年 10 月入学
- 平成 29 年 4 月入学 (第 1 次募集)
- 平成 29 年 4 月入学 (第 2 次募集)

(いずれか該当する募集区分をチェックしてください)

新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻 (修士課程)  
出願資格確認・審査申請書

フリガナ 氏名 生年月日	19 年 月 日生		性別	国籍	
			男・女		
志望教育 研究分野	第1志望		第2志望		
連絡先	郵便番号 - 住所 電話 ( ) - 携帯電話 ( ) - メールアドレス				
学 歴					
区 分	学 校 名	学校所在 国 名	規 定 の 修業年限	入 学 及 び 卒 業 (修了) 年 月	
初等教育 (小学校)			年	入 学	年 月 卒 業 年 月
中等教育 (中学校)			年	入 学	年 月 卒 業 年 月
中等教育 (高 校)			年	入 学	年 月 卒 業 年 月
高等教育 (大 学)			年	入 学	年 月 卒 業 年 月
高等教育 (大学院)			年	入 学	年 月 修 了 年 月
その他 ( )			年	入 学	年 月 卒 業 年 月
研 究 歴	期 間	大学又は研究機関等名称		在籍身分	備 考
	年 月から				
	年 月まで				
	年 月から				
	年 月まで				

研 究 歴	年 月から			
	年 月まで			
	年 月から			
	年 月まで			
勤 務 先 等 を 書 い て く だ さ い				
職	年 月から			
	年 月まで			
歴	年 月から			
	年 月まで			
等	年 月から			
	年 月まで			
	年 月から			
	年 月まで			
以 上 の と お り 相 違 あ り ま せ ン。				
署 名 _____ (印)				
年 月 日				

- (注)
1. 志望教育研究分野の第2志望欄は、第2志望がない場合は記入不要です。
  2. 受験時までの履歴（学歴、研究歴、職歴等）をもれなく記入してください。
  3. 研究歴は、大学卒業後、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として研究に従事した場合、その経歴を記入してください。
  4. 日本語学校等での学習歴がある場合は、学歴のその他欄に記入してください。
  5. 学校名、勤務先等は、すべて正式な名称で記入し、一切省略しないでください。
  6. 事実を隠したり、偽りを記入すると入学後でも入学を取り消すことがあります。
  7. 本申請書のほかに提出すべき書類については、4、10、16ページを確認してください。





# 新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）

## 入学志願票

- 平成28年10月入学  
 平成29年4月入学（第1次募集）  
 平成29年4月入学（第2次募集）

（いずれか該当する募集区分をチェックしてください）

フリガナ		※受験番号	
氏名		性別	
		男・女	
生年月日		年齢	
19 年 月 日生		歳	
志望教育研究分野		第1志望	教育研究分野
		第2志望	教育研究分野
出願資格	大学	年 月	大学 学部 学科 〔中退・卒業・卒業見込〕
	大学院	年 月	大学大学院 研究科 課程 〔中退・修了・修了見込〕
	その他		

本人連絡先	〒 電 話 ( ) — — 携帯電話 — —
上記以外の連絡先	〒 電 話 ( ) — — 携帯電話 — —

（記入上の注意）

- 黒のボールペンを用い、楷書で記入してください。
- 履歴事項を裏面に記入してください。
- ※印欄は記入しないでください。
- 年齢は、平成28年10月入学志願者は平成28年10月1日現在の、平成29年4月入学志願者は平成29年4月1日現在の満年齢を記入してください。
- 志望教育研究分野の第2志望欄は、第2志望がない場合は記入不要です。

（裏面記入欄あり）

検定料納付証明書 （新潟大学提出用）  貼 付 欄  ○金融機関の窓口で受領した検定料納付証明書（新潟大学提出用）をはってください。 （※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）
--

切り離さないでください

- 平成28年10月入学  
 平成29年4月入学（第1次募集）  
 平成29年4月入学（第2次募集）

（いずれか該当する募集区分をチェックしてください）

## 新潟大学大学院医歯学総合研究科 医科学専攻（修士課程）

### 受 験 票

※受験番号		性別
フリガナ氏名		男・女
生年月日	19 年 月 日生	
写真貼付 写真は上半身、脱帽、正面向きとし、出願以前3ヵ月以内に撮影したものを全面糊付けしてはってください。 （縦4cm×横3cm）		
第1志望		教育研究分野
第2志望		教育研究分野

切り離さないでください

- 平成28年10月入学  
 平成29年4月入学（第1次募集）  
 平成29年4月入学（第2次募集）

（いずれか該当する募集区分をチェックしてください）

## 新潟大学大学院医歯学総合研究科 医科学専攻（修士課程）

### 写 真 票

※受験番号		性別
フリガナ氏名		男・女
生年月日	19 年 月 日生	
写真貼付 受験票の写真と同じものをはってください。		
第1志望		教育研究分野
第2志望		教育研究分野

切り離さないでください

# 履 歴 書

高等学校卒業から現在に至る経歴を年次に従いもれなく明記してください。  
なお、外国人留学生は、初等教育（小学校）入学から記入してください。

	年・月・日	事 項
経 歴	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	資 格	・ ・
・ ・		
・ ・		
賞 罰	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	